

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価

施設名	豊中市立環境交流センター	
所管部(局)課名	環境部ゼロカーボンシティ推進課	問合せ 06-6858-2113
指定管理者	NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21	問合せ 06-6844-8611
事業期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	
指定管理者の状況	1. 設立年 平成14年(2002年) 2. 基本財産 6,460,307円(正味財産額) 3. 従業員数 9人 4. 所在地 豊中市服部本町1-10-9 5. 環境交流センターの管理運営を受託 【第1期】平成25年度から平成29年度まで 【第2期】平成30年度から令和4年度まで 【第3期】令和5年度から令和9年度まで	
1. 設立年 2. 基本財産(資本金) 3. 従業員数 4. 所在地 5. 関連施設・業務の管理実績について施設・業務名や実施年数		

1 事業達成度

	令和6年度	令和5年度
【1】管理運営		
① 施設の運営業務 (開館時間及び休館日)	毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日以後の最初の休日に当たらない日) 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)	毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日以後の最初の休日に当たらない日) 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
② 施設の維持管理業務	1. 清掃・警備・空調設備保守点検等の委託業者との連絡調整・履行確認 2. 施設の使用終了時の点検 3. 建物等のき損等に関する市への報告 4. その他建物等を常に良好な状態に維持するために必要な附帯業務	1. 清掃・警備・空調設備保守点検等の委託業者との連絡調整・履行確認 2. 施設の使用終了時の点検 3. 建物等のき損等に関する市への報告 4. その他建物等を常に良好な状態に維持するために必要な附帯業務
【2】事業運営		
① 事業内容	1. 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供 2. 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供 3. 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施 4. 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供 5. その他	1. 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供 2. 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供 3. 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施 4. 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供 5. その他

<p>② 実施状況</p>	<p>1. フリースペース、キッズコーナー、ポイントカードの配布、陶器とりかえコーナー、リユースコーナー、不用品交換コミュニティボードの運営、リユースバザー、親子ぐるぐるフェス、地域こだわりマルシェ&野菜市場、自然工作、おもちゃ病院、おはなし会「わにわに」、リサイクル作品展、施設間連携の企画(とよなかシネコン)、制服・学用品の回収・支援、子ども服の回収・配布、豊中市市民公益活動団体への支援、出張回収コーナー、ファンクラブ制度の代替取組み</p> <p>2. ホームページの運営、動画の制作、SNSを活用した発信の拡充、環境交流センターのおしらせ、リーフレットの作成・配布、地域イベント等での施設PR、メディア等への情報提供、デジタルサイネージの取組み、環境ギャラリー、図書などの閲覧・貸出し、地域との連携強化、学生の環境活動の支援、ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出、施設内での情報提供</p> <p>3. 「とよなかの環境」への意見募集の協力、地球温暖化対策につながる講座の開催、自然観察会、自然学習講座、自然ふしぎ発見クラブ、身近な生き物調査、自然環境の保全活動、暮らしやモノを考える講座、アップサイクル体験講座、SDGsをテーマとした連続講座、ぴったんこ隊、ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り、能勢町での里山体験イベント、能勢産材を使った物品の展示・販売、ちゃんぷる屋台村</p> <p>4. 施設でのイベント掲示板の設置、コピー・大型プリンター等の利用、打合せなどに伴う物品の貸出し</p> <p>5. 回収拠点(ペットボトル・インクカートリッジ・小型家電・蛍光灯、電池類・ベルマーク・傘)</p>	<p>1. フリースペース、キッズコーナー、ポイントカードの配布、陶器とりかえコーナー、リユースコーナー、不用品交換コミュニティボードの運営、リユースバザー、親子ぐるぐるフェス、地域こだわりマルシェ&野菜市場、自然工作、おもちゃ病院、おはなし会「わにわに」、ロハスな映画の上映、リサイクル作品展、施設間連携の企画(とよなかシネコン)、制服・学用品の回収・支援、子ども服の回収・配布、豊中市市民公益活動団体への支援、出張回収コーナー、市民向け地球温暖化対策事業との連携、ファンクラブ制度の代替取組み、開設10周年記念イベント</p> <p>2. ホームページの運営、動画の制作、SNSを活用した発信の拡充、環境交流センターのおしらせ、リーフレットの作成・配布、地域イベント等での施設PR、メディア等への情報提供、デジタルサイネージの取組み、環境ギャラリー、図書などの閲覧・貸出し、地域との連携強化、学生の環境活動の支援、ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出、施設内での情報提供</p> <p>3. 「とよなかの環境」への意見募集の協力、地球温暖化対策につながる講座の開催、自然観察会、自然学習講座、自然ふしぎ発見クラブ、身近な生き物調査、自然環境の保全活動、暮らしやモノを考える講座、アップサイクル体験講座、サイエンスカフェ、SDGsをテーマとした連続講座、ぴったんこ隊、ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り、能勢町での里山体験イベント、能勢産材を使った物品の展示・販売</p> <p>4. 施設でのイベント掲示板の設置、コピー・大型プリンター等の利用、打合せなどに伴う物品の貸出し</p> <p>5. 回収拠点(ペットボトル・インクカートリッジ・小型家電・蛍光灯、電池類・ベルマーク・</p>
<p>③ 事業目的の達成</p>	<p>令和6年度の利用者数は24,044人、貸室の稼働率は62.6%であり、双方とも確保すべきサービス水準(17,000人、44%)を達成できている。</p> <p>利用者数については、子ども服を回収・配布する子ども服リユース事業において、環境交流センターに常設コーナーを開設するとともに、地域の子育て関連イベントで、他団体と連携して子ども服リユースコーナーを設置する機会を拡充するなど、関係者や交流者が増えることで、行事等の参加者数の大幅な増加につながった。</p>	<p>平成25年度から、環境活動や環境学習の交流拠点となる施設として運用を開始した。令和5年度から令和9年度までが、3期目の指定期間となっている。</p> <p>令和5年度の利用者数は、17,520人、貸室の稼働率は、62.5%となった。双方とも確保すべきサービス水準(17,000人、44%)を達成することができた。</p> <p>来場者アンケートでは「いつも親切で丁寧で明るくて好感が持てる」「いつも清潔できちんとしている」などの意見があり、多くの方が利用しやすい施設になっている。</p> <p>以上のことから、事業の目的は一定達成しているものと評価できる。一方で、「施設の認知度が低い」「スペースが生かしきれていない」など意見があり、改善を検討する余地がある。</p>

【3】指定管理業務における収支状況			単位：千円	
(収入)	指定管理委託料収入	21,505千円	指定管理委託料収入	21,505千円
	事業収入	351千円	事業収入	355千円
	合計	21,856千円	合計	21,860千円
(支出)	人件費支出	15,794千円	人件費支出	14,120千円
	受託事業費支出	5,657千円	受託事業費支出	4,952千円
	消費税	993千円	消費税	1,302千円
	合計	22,444千円	合計	20,374千円

2 利用者満足度

	令和6年度	令和5年度
① アンケート調査等の実施状況 (実施日) (アンケート対象)(回答者数)	令和7年2月7日(金)～28日(金) 来館数113名(高校生以上) アンケート結果のうち、5段階評価の「とても思う」と「どちらかという思う」の割合 ○スタッフの対応 接客態度の満足度 97% ○施設の利用について 清潔さの満足度 93.1% 貸室の利用満足度 82.6% ○事業の満足度 主催事業の満足度 87.2%	令和6年2月8日(木)～29日(木) 来館数82名(高校生以上) アンケート結果のうち、5段階評価の「とても思う」と「どちらかという思う」の割合 ○スタッフの対応 接客態度の満足度 97.2% ○施設の利用について 清潔さの満足度 88.16% 貸室の利用満足度 84.85% ○事業の満足度 主催事業の満足度 91.8%
設問内容と回答 (満足度率)	<施設の利用目的> 貸室利用 33.6% 行事に参加 19.5% 陶器のとりかえ 15.9% ※満足度率について、「わからない・利用したことがない」と回答した人・無記入・無回答の人を除いた数値	<施設の利用目的> 行事に参加 26.8% 貸室利用 18.3% 陶器のとりかえ 17.1% ※満足度率について、「わからない・利用したことがない」と回答した人・無記入・無回答の人を除いた数値
② 苦情対応実績	施設の運営に係る苦情はなかった。	施設の運営に係る苦情はなかった。
③ 利用者満足度向上への取り組み	環境交流センターの周知啓発の一環として、イベント案内動画を作成し、施設前の通行者に対してデジタルサイネージで発信するなど、新規利用者の獲得にも力を入れていることは評価できる。 子ども服を回収・配布する子ども服リユース事業について、環境交流センターに常設コーナーを開設するとともに、地域の子育て関連イベントにおいて、他団体と連携して子ども服リユースコーナーを設置するなど、関係者や交流者を増やす機会を提供できた。 市民からの要望により、千里文化センターコラボ内のテラポットカフェの協力を得て、陶器の出張回収を行い、施設外での資源循環の促進に取り組んだ。 大阪大学環境サークルが主体となり実施する、小学生を対象とした体験型の連続講座「ぴったんこ隊」では、チラシを全校に配布する等周知を工夫することにより、定員を超える応募があり、参加した子どもたちの環境意識高揚につながった。	子ども服リユースイベントによる子ども服の回収・配布や能勢町での里山体験などを、環境交流センター外で実施することにより、さらなる市民の広がりを作るために新たな種をまくことができた。子ども服リユースは約1,000人の市民に参加してもらうことができ、センターでの常設について、他団体と連携して意見交換会も行った。 また、能勢町の里山体験イベントでは、定員30人のところ280人の応募があり、ニーズが高いイベントであることがわかった。 南桜塚校区地域連絡協議会への参加を継続することで、市民・市内の団体、施設周辺地域とのつながりを深めた。

3 その他

	令和6年度	令和5年度
① 個人情報保護の対応状況	個人情報保護管理責任者を設置し、指定管理者の組織で運用している規則に基づき適正に管理している。	個人情報保護管理責任者を設置し、指定管理者の組織で運用している規則に基づき適正に管理している。
② 情報公開実施状況	情報公開責任者を設置し適正に運営している。 開示請求 0件 また、ホームページ、SNS、メールマガジン、Youtubeの動画、リーフレット、環境交流センターのおしらせ(年12回発行)などで、事業内容やイベントの案内などを紹介している。	情報公開責任者を設置し適正に運営している。 開示請求 0件 また、ホームページ、SNS、メールマガジン、環境交流センターのおしらせ(年12回発行)などで、事業内容やイベントの案内などを紹介している。
③ 緊急時等への対応状況	緊急時の連絡フロー図を作成し対応できるようにしている。また、消防訓練等も実施している。	緊急時の連絡フロー図を作成し対応できるようにしている。また、消防訓練等も実施している。